

衆議院議員
前田雄吉

次代を担う ネットワーク ビジネス

ネットワークビジネスへの

「無知・無理解・誤解・

偏見・勘違い」を正す！


アーチメント
出版



はじめに

私は政治家です。平成十二年、衆議院に当選以来、「普通の人の目線で国政を考える」という信条を、いついかなるときも忘れることなく、国政に携っております。ところが、「普通の人の目線」は、世の中のすべてが見えているわけではありません。とりわけ光が当たっていない部分は見えにくくなります。

見えにくい部分は、なんとかしてはつきりと見てやろうという人よりも、たぶんこんなものだろうという思い込みで自分を納得させてしまう人のほうが多いように感じます。

なぜなら見えにくい部分をあえて見なくても、生活していけるからです。むしろ見えにくい部分と距離を置いたほうが、安心して生活できると考える人もいます。

しかし、光が当たらず見えにくい部分にも、額に汗して、真面目に働いて、きちんと納税義務を果たして生きている人たちがいます。その人たちが何か悪いことをしているような肩身の狭い思いをしているのは、いかにも不道理で、理不尽なことだと思っています。

普通の人が見えにくい部分を見ようとしなければ、「五段拍子の思い違い」が生じてきます。五段拍子の思い違いというのは、無知、無理解、誤解、偏見、勘違いの五つのことです。今、この五段拍子の思い違いの目に晒さらされている最たるものが、ネットワークビジネスです。

世の中に流布されている五段拍子の思い違いは、事実を知らない、知らされていないところに原因があります。政治家にはそれを知らせる義務があります。そして、その事実を知るのは普通の人の権利です。

残念なことですが、事実を伝えなければならない政治の世界にいる人の中にも、実はネットワークビジネスについて五段拍子の思い違いをしている人が大勢いるのです。もちろん、その中には経済産業省の官僚も含まれます。

物事の順序として、私はネットワークビジネスの事実を知ったときから、まず国政の場でネットワークビジネスに対する思い違いを正すために、精力的に働いてきました。その成果はわずかでありますが、実り始めてきています。

ネットワークビジネスに政治の光を当てる働きは、ようやく土俵に上がったというところですよ。本当の勝負はこれからです。政治の場でやらなければならないこと、そして、普通の人たちが、知らなければならないことがたくさんあります。

この本は、真っ当にネットワークビジネスに携わっておられる方、さらにネットワークビジネスに関心のある方に向けたエールです。その方たちに、しっかりと自信をもって発言してください、堂々と仕事に取り組んでくださいと背中を押す応援歌です。

しかし、私のエールは、特定の組織、集団に与するファンやサポーターのためのものではありません。良いものは良い、悪いものは悪い、正すべきことは正すべきだとはっきりと言っています。事実を事実として広く知らしめていくことが、力強

いエールになると思っっているからです。

本書を通して、ネットワークビジネスにかかわる方たちへエールを贈ると共に、このビジネスを保護、育成し、発展させるべき基本法づくりに向けて、さらなる努力を重ねていく所存です。

ネットワークビジネスは、まぎれもなく日本経済の「救世主」となる一つの流通システムです。

なぜ、そう断言できるのか。この本を最後まで読んでいただければ、得心されると思います。

私は、「今、変える!!」をキャッチフレーズに初当選しました。いつの時代にも、変わる、変えなければならぬ「今」という時期じきはあります。

ネットワークビジネスにとって、二〇〇七年、「今、変える!!」時期をむかえているのです。